

未来の自治区について 考えるアンケート調査

結果概要報告

2022.5.14(土)区長会

総務政策課

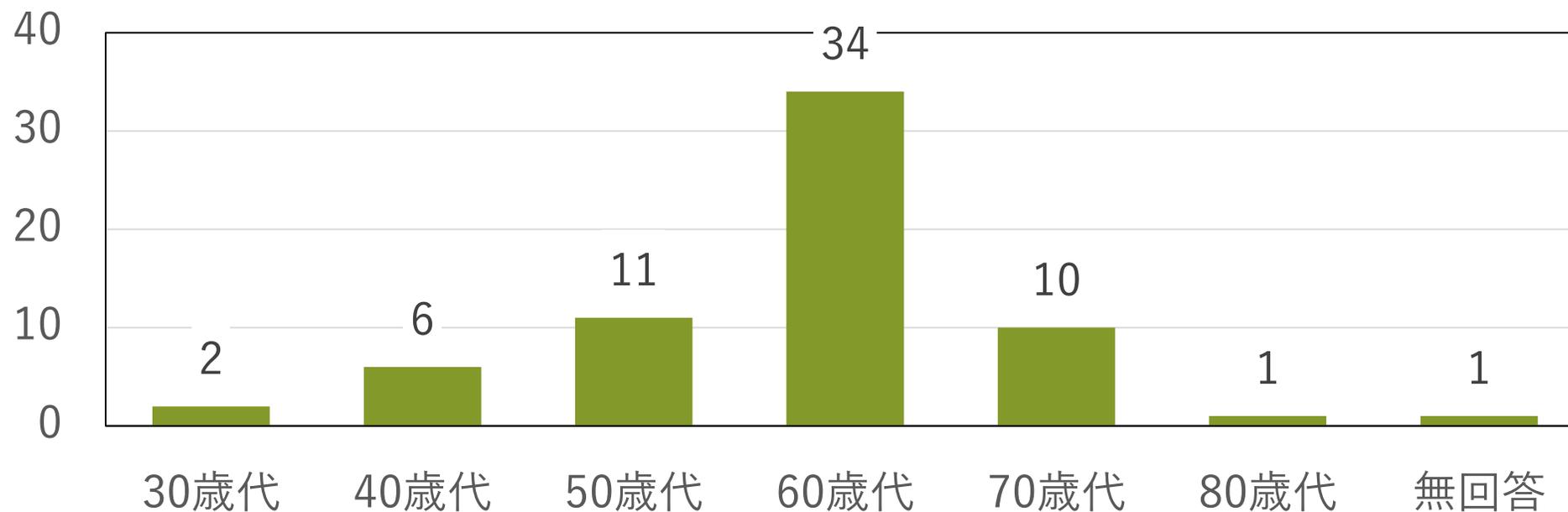
一般社団法人 地域問題研究所

調査概要

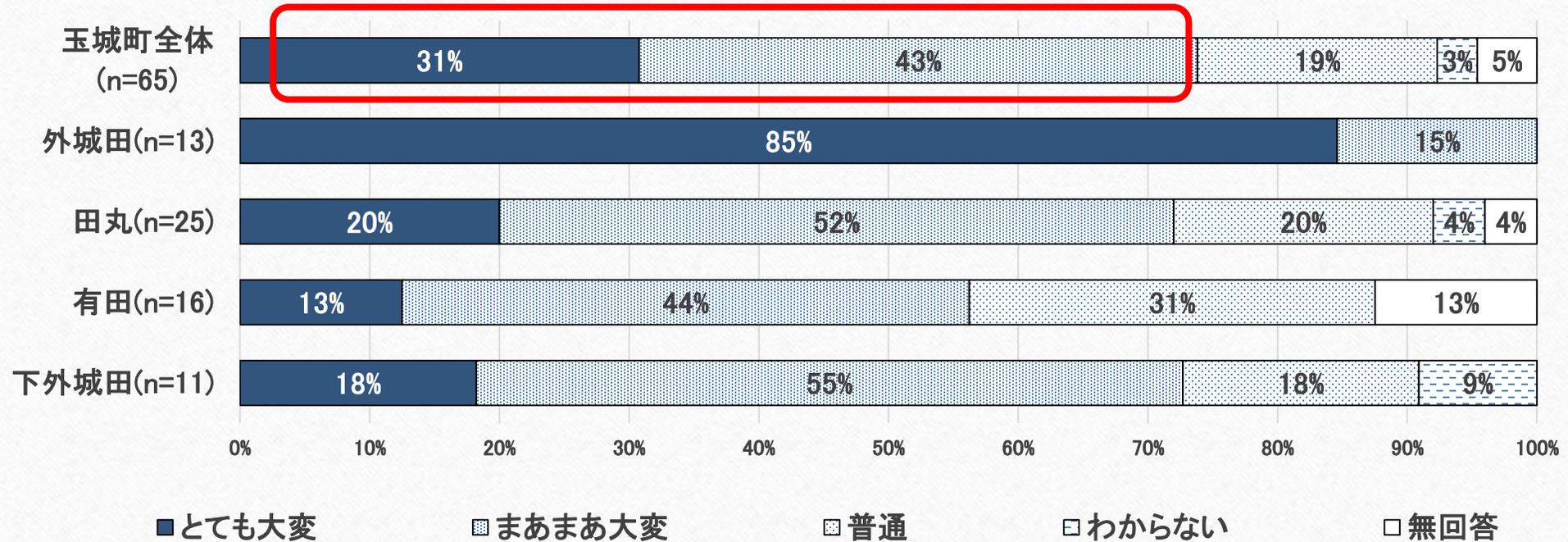
調査目的	玉城町における自治区の状態を把握、 これからの自治区のあり方を検討のため、 69区の自治区の区長を対象にアンケートを 行いました。
調査対象	全69区の自治区の区長
調査方法	地域懇談会で依頼、調査票を配布

区長の平均年齢は57.4歳、 最年少は30歳代、最高齢は80歳代

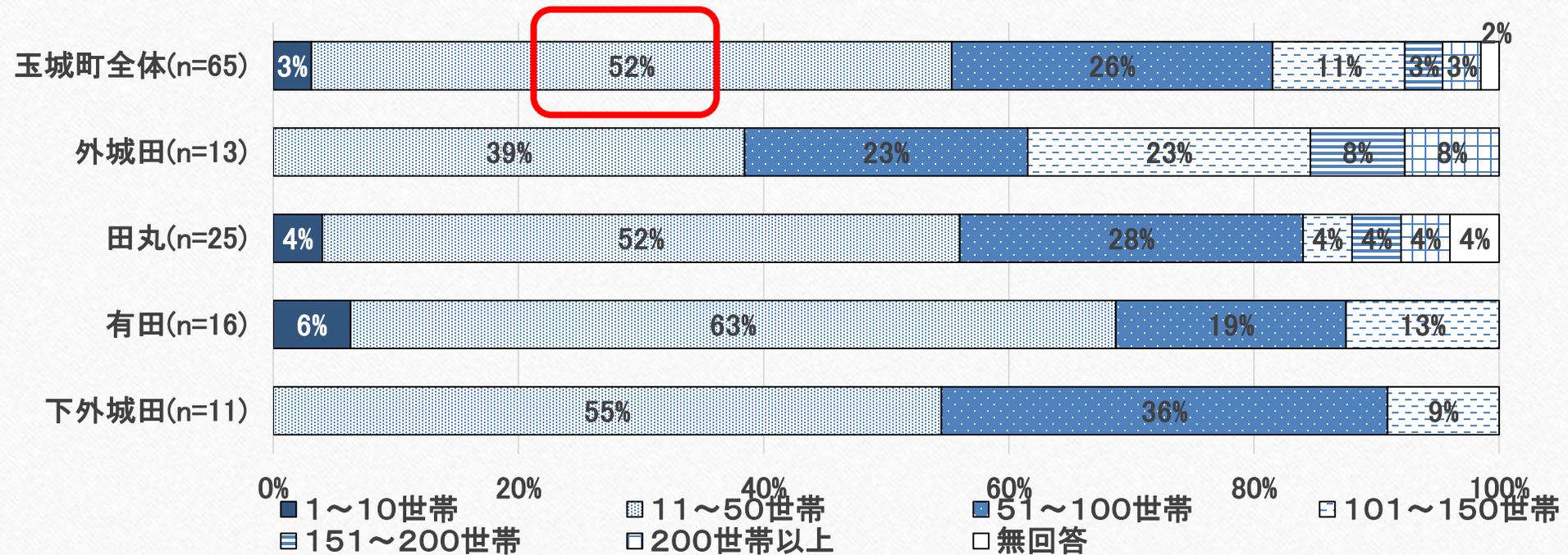
(人)



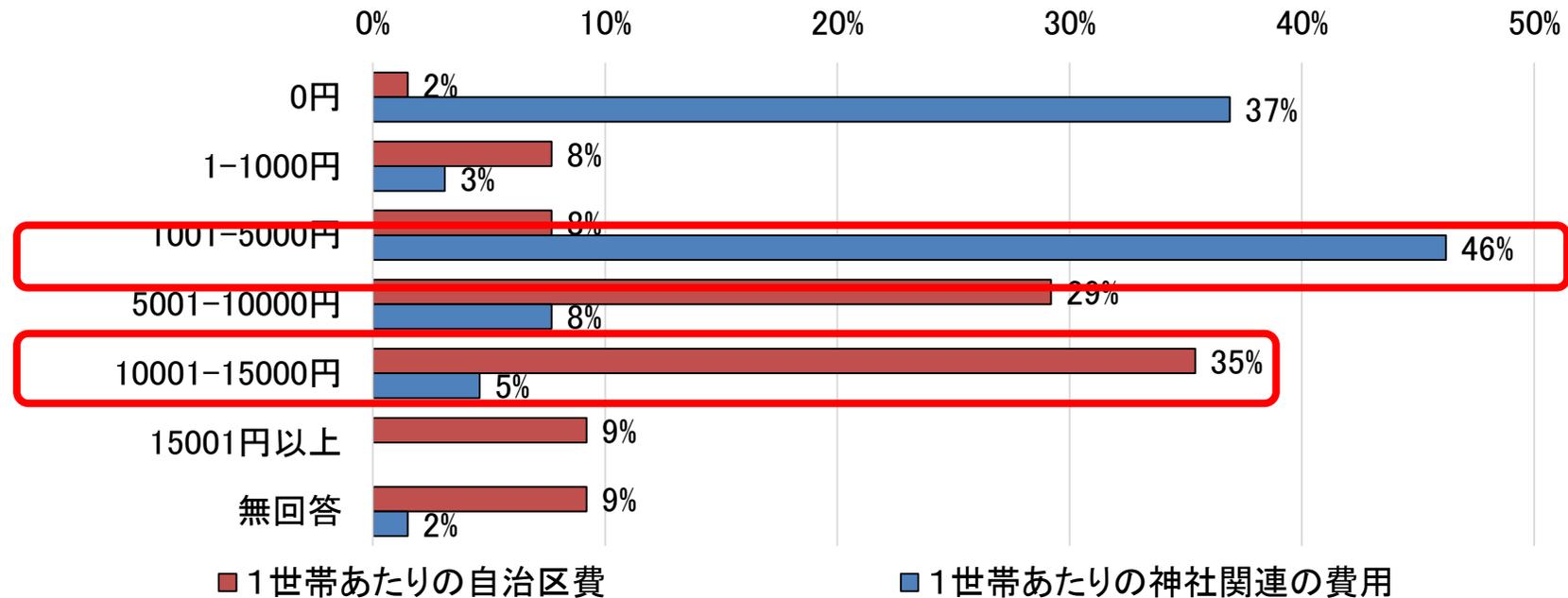
区長職の負担感74%が『大変』と感じている

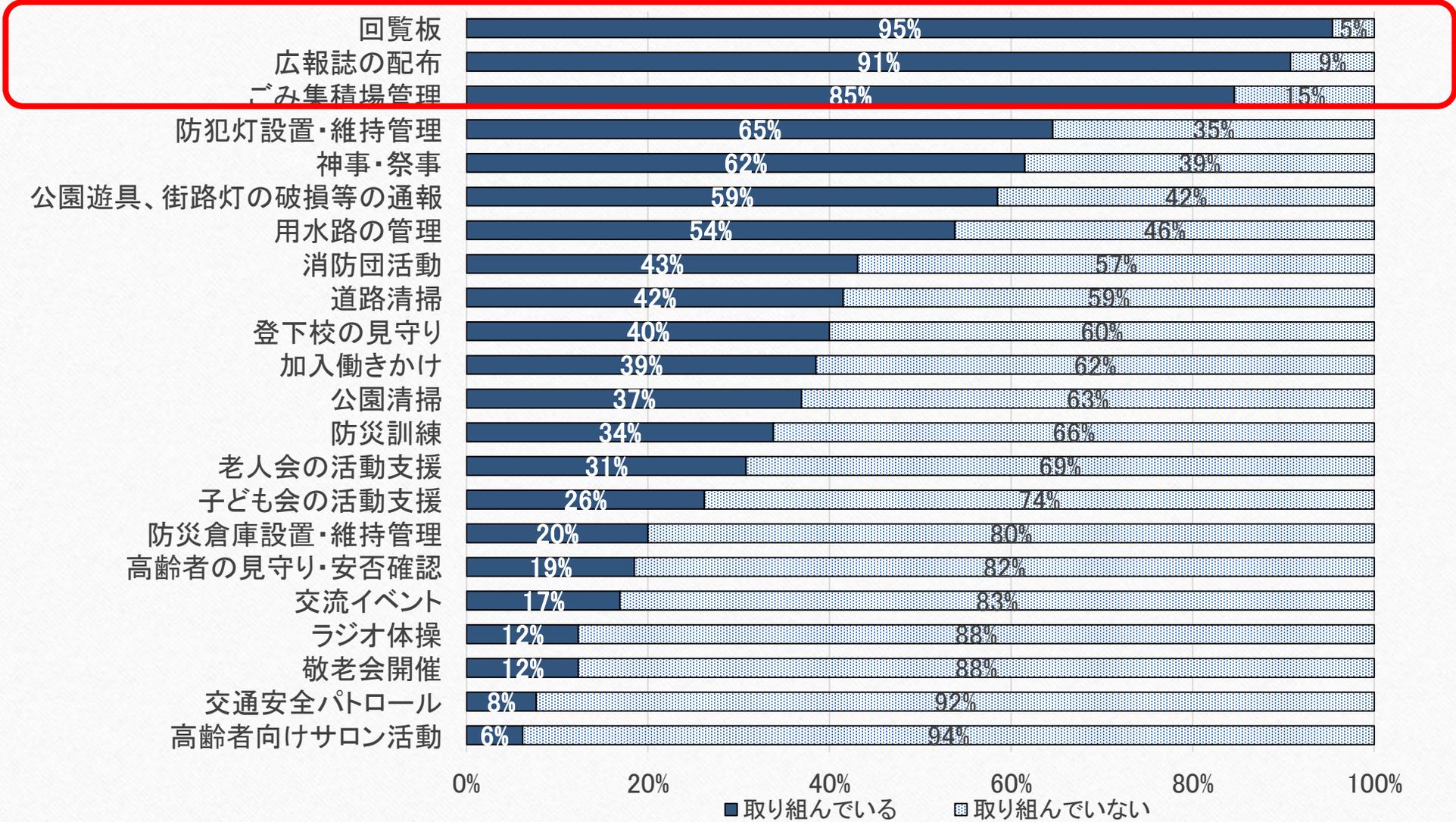


自治区に加入している世帯数 「11～50世帯」が半数、100世帯以上が約2割

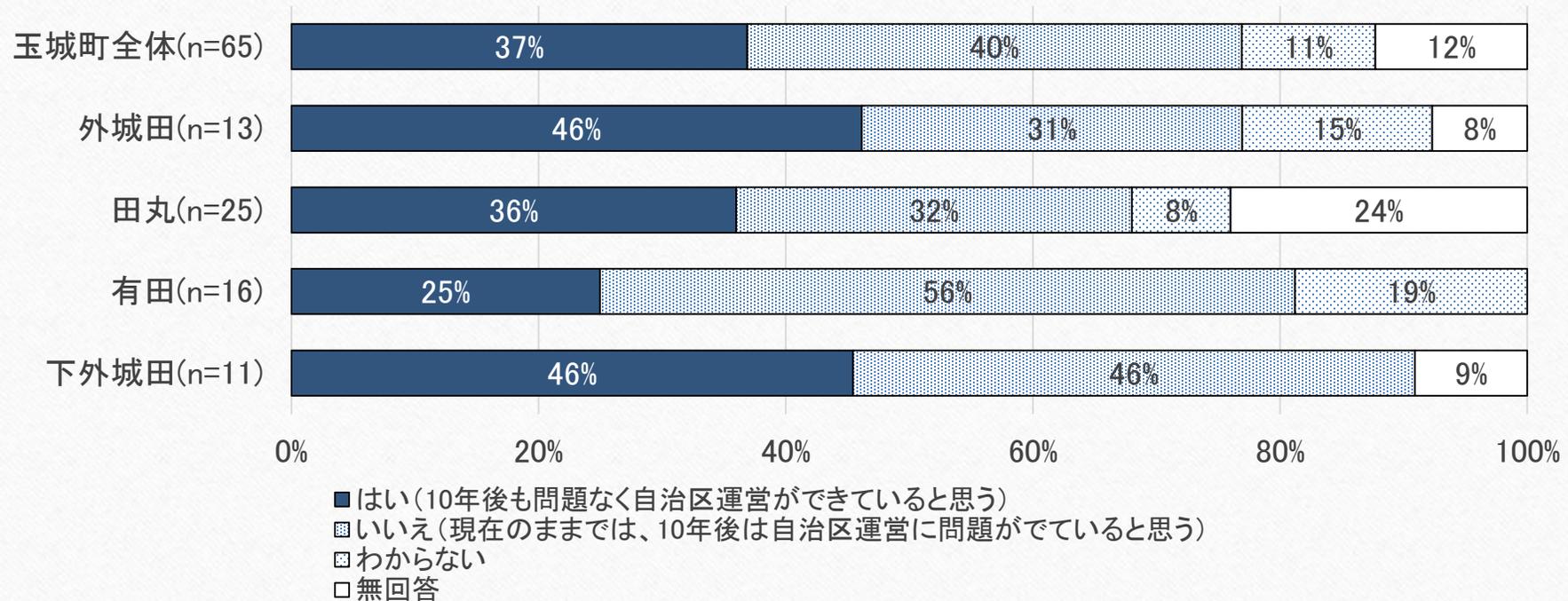


1世帯あたりの自治区費 自治区費「10,001～15,000円」 神社費「1,000～5,000円」が最多



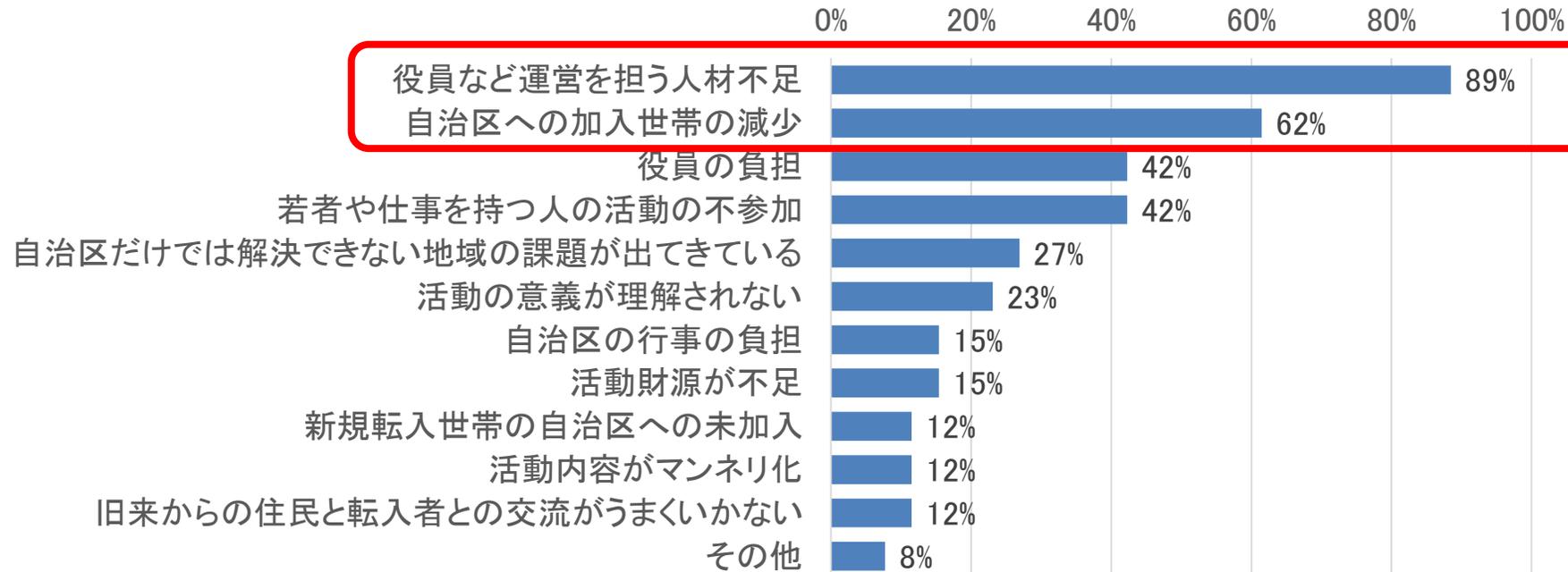


10年後に問題なく自治区運営ができています？ 「はい」「いいえ」ほぼ同程度

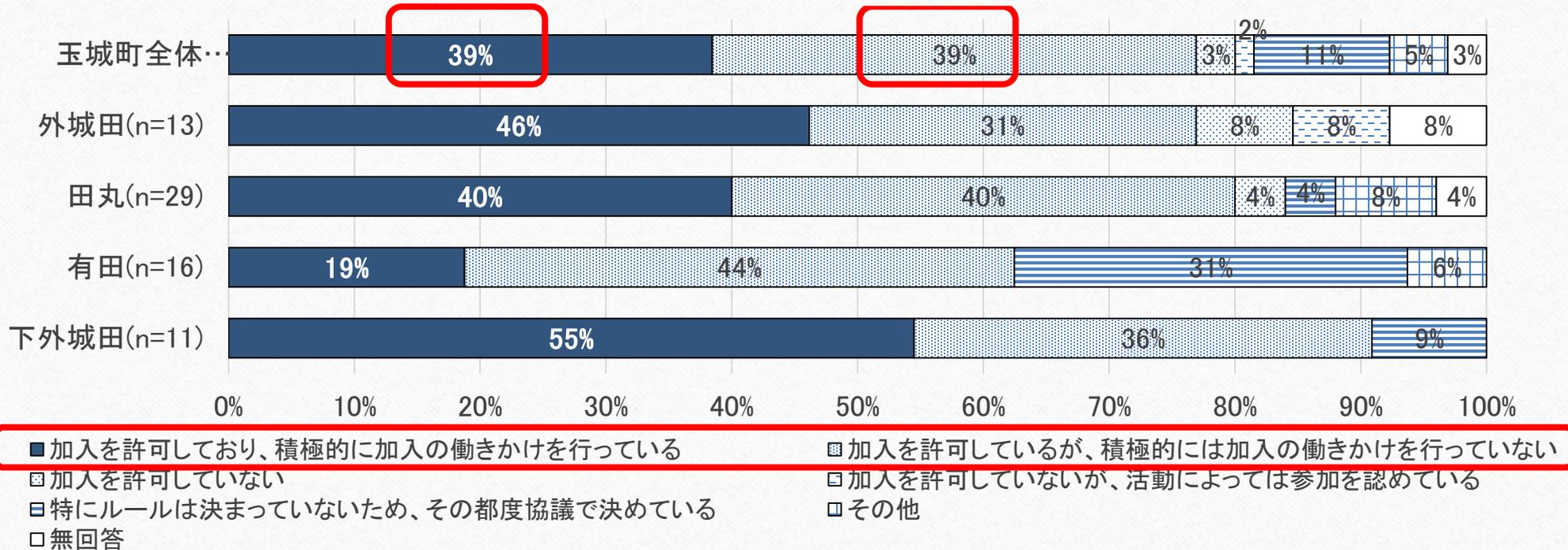


「いいえ」と答えた26自治区 課題は？

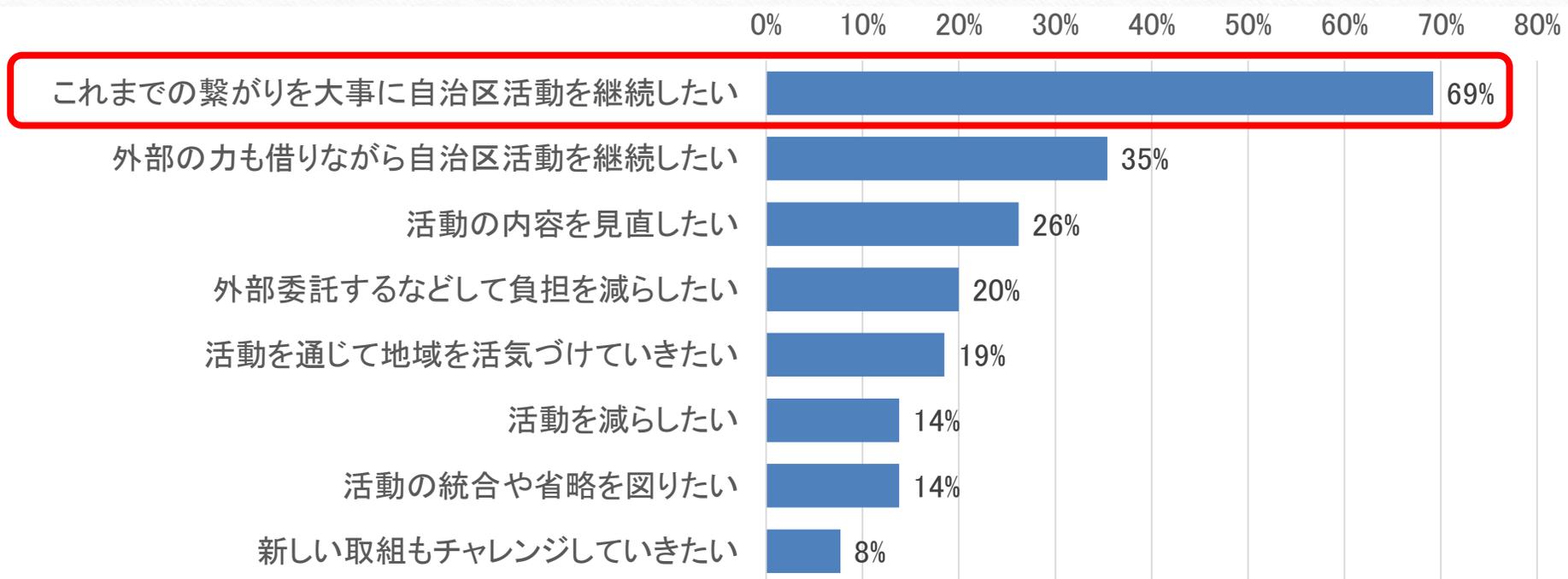
「人材不足」「加入世帯の減少」



転入者に対して、 自治区加入働きかけの有無が同程度



将来の展望やこれからの方向性として、 これまでの繋がりを大事にした自治区活動継続が7割



自治区の主体的な持続運営のために

- 住民の高齢化や暮らしの変化等の影響を受けて、多くの自治区では、
- ○役員等の担い手不足
- ○行事や出合い等の継続の困難
- ○地域の新しい問題への対応の困難
- など、運営における課題を抱えています。



玉城町の地域コミュニティにとっては
自治区がこれからも主体性をもって持続していくことが必要！

自治区の運営にあたっての相談ごとなどがありましたら、お気軽に総務政策課までお問合せください！

